

令和7年度 事務事業評価シート（１）

[令和6年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	公害保健福祉事業				事業番号	011-223	
担当部署名	健康福祉	局	保健所	部	保健医療業務		課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画2025	施策 との 関連	有・無	戦略	—		施策	—		
			無	取組の方向性	—					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	—		ターゲット	—		
			無	取組	—					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		
2	関連計画									
3	事業開始年度			昭和 49 年度		点検対象年度		令和 7 年度		
4	実施根拠			公害健康被害の補償等に関する法律						

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁					
6	事業の対象	公害認定患者 921人				対象数	単位
						921	人
7	事業の目的	ぜん息に関する予防薬、吸入薬、吸入器の使い方などについての保健師による指導や、インフルエンザ予防接種の費用助成により、公害認定患者の健康を回復、保持、増進させることを目的とする。					
8	事業内容	・家庭療養指導：公害認定患者に対し、日常生活の指導、保健療養指導等を行う。 ・インフルエンザ予防接種費用助成：予防接種を受けた認定患者の予防接種負担金額を助成する。 ・新型コロナ予防接種費用助成：予防接種を受けた認定患者の予防接種負担金額を助成する。					
		※国・府の基準より上回って実施した内容					
9	主な支出先						
10	公民連携・協働事業						

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標 点検対象年度
	公害認定患者の障害等級の維持・軽快の割合	%		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度
			目標値	100	100	100	100
			実績値	99	99		
			達成率	99%	99%		
当該指標を選定した理由		公害認定患者の健康の回復、保持、増進を目的としたものであるため					
目標値の設定根拠・算出方法		障害等級が維持または軽快している患者の割合					
12	活動指標	単位		実績		目標	
	家庭療養指導人数	人		令和5年度	令和6年度	令和7年度	
			目標値	731	691	650	
			実績値	667	687		
			達成率	91%	99%		
当該指標を選定した理由		より多くの公害認定患者への療養上の指導を行い、その健康の回復、保持、増進を図るものであるため					
目標値の設定根拠・算出方法		家庭療養指導人数					

令和7年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	公害保健福祉事業	事業番号	011-223
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和7年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	8,896	9,022	10,918	10,591	13,052
	国支出金	0	0	0		0
	府支出金	0	0	0		0
	市債	0	0	0		0
	その他（福祉事業負担金）	2,892	2,916	8,188	2,912	9,789
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0		0
	一般財源	6,004	6,106	2,730	7,679	3,263
14	人件費（b）	7,040	7,020	6,720	6,720	7,680
15	年間経費（c）=(a)+(b)	15,936	16,042	17,638	17,311	20,732

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R6	R7				R6	R7		
16	会計年度任用職員報酬	決算		6,749	4,893	封筒等印刷製本費	決算		0	0
		予算		7,114	1,779		予算		21	5
	期末勤勉手当（会計年度任用職員）	決算		2,302	1,669	通信運搬費	決算		108	78
		予算		2,727	681		予算		178	45
	費用弁償（訪問旅費）	決算		33	24	インフルエンザ予防接種費用助成金	決算		871	632
		予算		91	23		予算		1,187	297
	費用弁償（通勤費）	決算		512	371	新型コロナ予防接種費用助成金	決算		0	0
		予算		598	149		予算		1,120	280
	消耗品費	決算		16	12		決算			
		予算		16	4		予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

17	区 分		単位	令和5年度	令和6年度
	① 家庭療養指導人数		人	667	687
	② 上記①にかかる年間経費		千円	16,042	16,440
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）		円/単位	24,051	23,930
	算出についての説明等				

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	家庭療養指導は面会（自宅・自宅外）、電話、資料投函等複数の方法で公害認定患者との接触を試みている。市外転出者も対象であること、また、接触手段も3年に1度の公害手帳の更新時にのみやり取りする相談票を契機とするものなど毎年対象数が一定ではないものもあるが、今年度はこれまで連絡をとってなかった「施設入所中」の記載のあった方についても、電話番号がわかれば電話連絡を行い、直近の生活状態の把握に努めたり、面談の機会をなるべく増やすよう努めたことが、指導人数の増加につながり、単位当たり経費の削減につながったと思われる。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	訪問による家庭療養指導を積極的に実施した一方で、対面での面談に不安を感じる方に対しては、電話等による指導も合わせて実施し、それぞれのニーズに応じた形で患者の健康の回復、保持、増進に寄与した。
----	---